要件定義終結において確認すべき事項（チェックリスト③）

大分類	中分類	小分類	内容	注意点
契約要件	パッケージ		パッケージ使用の有無	
			使用予定のパッケージの内容・特徴	
			パッケージでカバーできる範囲（機能）	パッケージでカバーできない範囲（カスタマイズ部分）も含む
			パッケージの権利関係	利用契約かどうかなど
			パッケージにかかる費用	利用料（ランニングコスト）も含む
			パッケージの保守体制	別途、保守費用がかかるかなども含む
	知的財産		特許権	成果物の特許権は誰のものになるのか
			著作権	成果物の著作権は誰のものになるのか
			FOSS(フリーオープンソフトウェア)	FOSS利用の有無 利用する場合の費用・責任関係など
	成果物		成果物の内容	納品予定の成果物は何かなど
			設計書等のドキュメント	どのような書面が作成され、納品されるのか 設計書の記載レベルなど
要件定義	全体方針		システム化の目的・目標	経営課題を解決できるシステムとなっているか
			開発の範囲	開発しない範囲も明らかにする
			開発手法	ウォーターフォール型か、アジャイル型かなど
			スケジュール	各工程の終了時期を含む
			進捗管理の方法	
			サービスインの時期	
			体制図	PMや実作業を行う者などの全体体制図
			ベンダーとユーザーとの連絡・報告方法	
			再委託の許否	再委託を許可する場合の条件も含む
			変更管理の方法	変更する場合の手続や費用負担についても含む
	機能要件	業務要件	対象となる業務フロー	
			入出力情報	どのような情報を取り込んで、どのような情報を吐き出すのか
			業務機能の一覧	
		システム要件	システム環境	オンプレミスか、クラウドかなど
			ハードフェア構成及びソフトウェア構成	
			関連する他のシステムとの関係	
			使用する言語	保守性に影響する
			アウトプット	画面、帳票等
		インターフェース	システム間のインターフェース	
			ヒューマンマシンインターフェース	
			接続端末のインターフェース	通信関係
	非機能要件	可用性	システムの稼働時間など	システムの停止予定も含む
			障害・災害時における稼働目標	許容される障害回復時間、年間の許容障害件数、許容される障害通知時間、復旧・回復方法等を含む
		性能・拡張性	システムのパフォーマンス（性能）	処理能力、レスポンスタイム等（高負荷時も含む）
			システム追加の容易さ（拡張性）	他社システム・ソフトウェアの利用は可能か
				後日、他のシステムと連携させることは可能か
				容易に機能追加・変更できるか
		運用・保守性	稼働レベル	監視手段・バックアップ体制を含む
			保守（メンテナンス）について	メンテナンスの概要
				メンテナンスの体制
				メンテナンスの費用感
		移行性	新システムへの移行期間・移行方法	誰がどのような作業を行うのかを含む
			移行対象資産の種類・移行量	
		セキュリティ	セキュリティ要件、対策・方法	重要
		システム環境・エコロジー	耐震・免震、重量・空間、温度・湿度、騒音等、システム環境に関する事項	
			CO2排出量や消費イエネルギー等、エコロジーに関する事項	
その他	テスト		テスト内容	テストの内容及び方法
				誰がどのようなテストを行うのか（作業分担）
				誰がテストケースを作成するのか
				テスト終了基準（システム完成基準）
	受入支援		受入支援の有無及び内容	ベンダで受入支援を行うか 受入支援を行う場合の支援内容など

＊非機能要件の分類は、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）の「非機能要求グレード2018」を参考にした。

copy right 牧野総合法律事務所